GIKAI DAYORI

ぎかいだより

おおぞら
OZORA

北海道大空町議会
平成28年（2016年）11月15日発行

42号
平成28年9月 定例会

9月25日ジェットラインさわやかマラソン大会

適正な予算執行や効率的な事業運営が行われているか

●決算審査特別委員会を設置……P2
～総額113億円の決算を審議!
●平成28年9月定例会 ……P7
◇台風7号・11号災害復旧費に1億4,240万円
●平成28年8月臨時会 ……P9
◇合宿来町費用助成関連補助金に80万円
委員会レポート……P14
両常任委員会で所管事務調査を実施! ……P18
「町民の声」宮下 久枝さんより ……P22

町政を問う!! ～9月定例会～

【一般質問:2名の議員が登壇】

☆上地史隆議員
○台風災害について　ほか１件 ……P11
☆原本哲己議員
○昨今の異常気象による災害・被災農地の復旧・維持について ……P12

大空町　検索
http://www.town.ozora.hokkaido.jp

平成27年度決算

適正な予算執行や効率的な事業運営が行われているか

一般会計84億円・特別会計29億円 ～各会計総額113億円の事業取組みはどうだったか～

松田 信行委員長

齋藤 宏司副委員長

９月12日から13日まで開催した第３回定例会において、平成27年度の決算審査は、特別委員会を設置して審査することとし、松田信行議員が委員長に、齋藤宏司議員が副委員長に選出されました。

10月21日には、決算審査特別委員会を開催し、平成27年度の予算執行及び事業運営を審議しました。

すべて原案のとおり認定し、12月定例会において委員長から報告を行います。

平成27年度の決算を認定

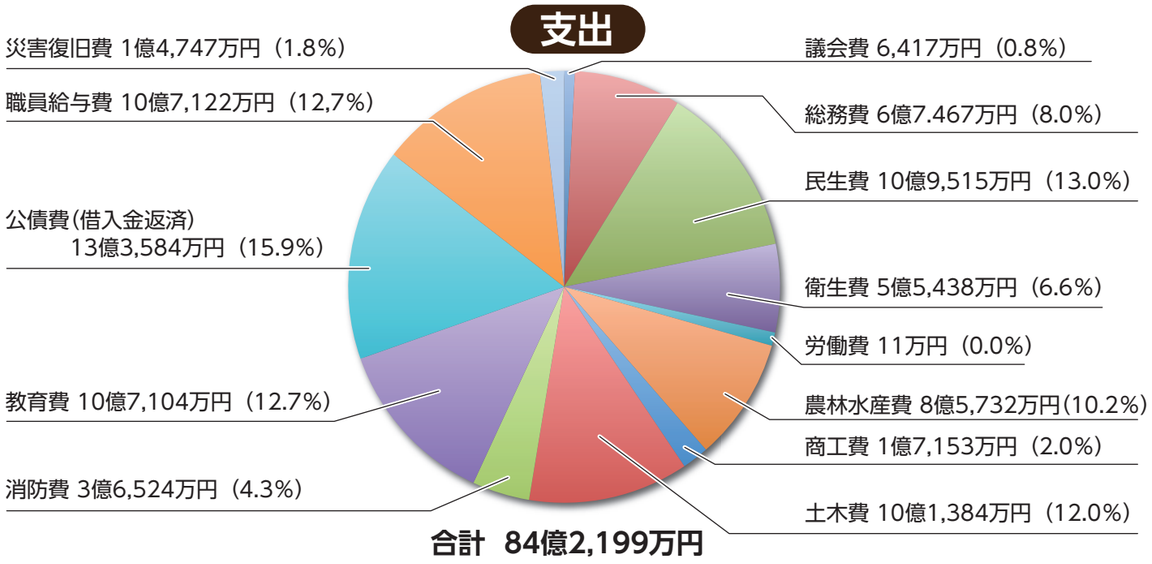
平成27年度の一般会計と特別会計を合算した決算額は、歳入は115億5,243万円、歳出は113億1,649万円で、形式収支は２億3,594万円の黒字となりました。

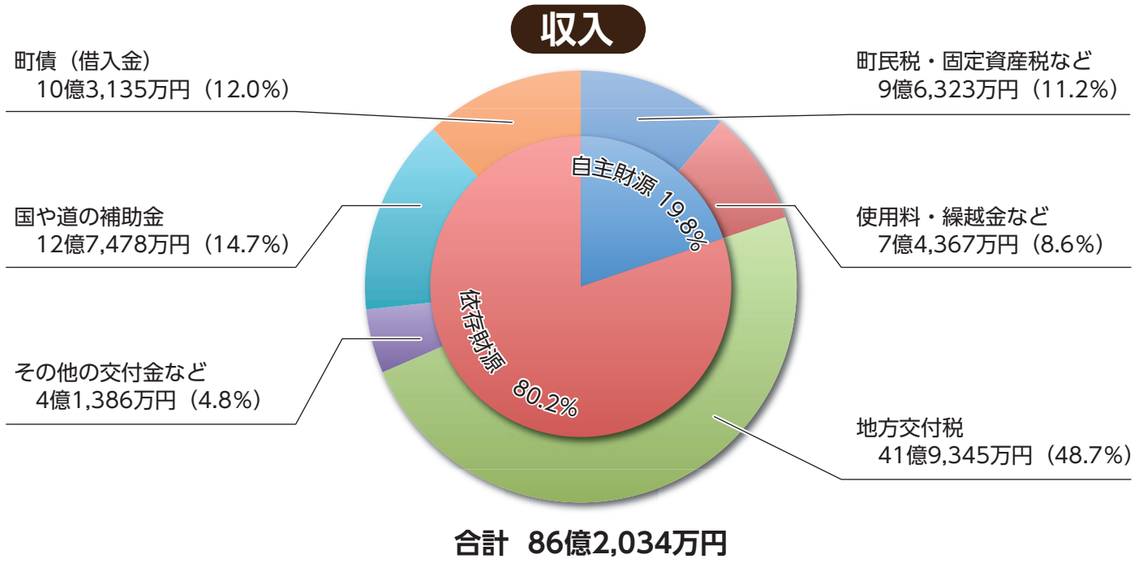
一般会計の歳入では、町税が前年と比較して498万円の減となっており、主に町民税が増加し、固定資産税が減少しています。歳出では、補助費の増などもあり、前年と比較して増となっています。

平成27年度大空町一般会計・特別会計決算額及び実質収支

会計名		27年度予算額	歳入決算額	歳出決算額	実質収支
一般会計		87億5,166万円	86億2,034万円	84億2,199万円	1億3,358万円
特別会計	国民健康保険事業特別会計	13億8,034万円	13億8,140万円	13億7,830万円	311万円
	後期高齢者医療特別会計	1億781万円	1億728万円	1億727万円	1万円
	介護保険事業勘定特別会計	7億3,385万円	7億3,421万円	7億1,529万円	1,892万円
	介護サービス事業勘定特別会計	798万円	935万円	777万円	158万円
	簡易水道事業特別会計	3億2,419万円	3億2,501万円	3億1,854万円	647万円
	下水道事業特別会計	3億4,601万円	3億4,606万円	3億3,962万円	643万円
	個別排水処理事業特別会計	2,872万円	2,877万円	2,771万円	107万円
各会計合計		116億8,056万円	115億5,243万円	113億1,649万円	1億7,117万円

※千円以下、小数点第三位以下を四捨五入して表記しています。





決算審査特別委員会

平成27年度末　基金（＝町の貯金）と町債（＝町の借入金）残高

	平成27年度末	平成26年度末	対前年度比増減額
	（町民一人当たりの額）	（町民一人当たりの額）	（増減比率）
基　金（＝町の貯金）	**51億1,959万円**	47億977万円	＋　4億982万円
	（約68万円/人）	（約62万円/人）	
町　債（＝町の借入金）	**109億8,856万円**	111億5,819万円	△　1億6,963万円
	（約146万円/人）	（約146万円/人）	

※注１）「基金」の額は、運用基金である奨学基金を除いた額、「町債」の額は、一般会計分の額です。
※注２）町民一人当たりの額は、各年度の３月末現在の人口をもとに算出しました。
⇒平成27年度末人口：7,482人
平成26年度末人口：7,628人

平成27年度の決算における財政指標

項　目	説　明	平成27年度	平成26年度
財政力指数（３か年度平均）	自治体の財政力上の能力を示す指数。１に近いほど財政力が強いと判断される。	**0.239**	0.238
経常収支比率	経常的に支払わなければならない経費に、経常的に収入できる財源を使っている割合。町の財政の柔軟性を示す指数。７０％以内が望ましいとされる。	**81.6%**	85.1%
実質公債費比率	自治体の借入金の返済額の大きさを、その自治体の財政規模に対する割合で表したもの。	**11.9%**	13.1%
将来負担比率	借入金（地方債）など、現在抱えている負債の大きさを、その自治体の財政規模に対する割合で表したもの。	—	—

監査委員の意見

代表監査委員
近藤克郎氏

平成27年度の一般会計歳入歳出決算の状況を見ると、前年度に比べ、歳入は7・9％　6億2875万円の増、歳出は7・2％　5億6225万円の増となっており、いずれも黒字である。また、実質公債費比率、将来負担比率等の計数については昨年度よりも好転が見られ、長期計画に基づいた財政運営が行われていることと判断される。また、地方交付税は合併特例期間の段階的終了で減少が見込まれることから、長期的視野に立った計画的な財政運営が必要であり、より一層の効率的な経費負担を図るとともに、求められる住民福祉の向上を図る事業の推進により、町民とともに健全な財政運営を維持することが必要と考える。

各会計決算の質疑応答

☆一般会計☆

【歳入】

地方交付税（41億9345万円）

品田委員　地方交付税についてはどのぐらいの減額率か、また国勢調査の人口減の影響はあるか。

藤田総務課長　大空町は約1000万円で、△0・3％の減額率です。国勢調査等による人口は、平成22年度人口での算定のため影響はありません。

備荒資金組合超過納付金返還金（149万円）

品田委員　この返還金について、普通納付金の返還金はないのか。

藤田総務課長　備荒資金組合の返還金に係る普通納付金・超過納付金については配分金という形で利息が付いております。これは備荒資金組合の中で、町で納付している納付金に増額されます。

【歳出】

元気づくり応援事業補助金（192万円）

上地委員　件数11件のうち被災地支援が1件と残り10件は何か。

林総務課参事　主に版画カレンダーづくり、輝農祭イベント活動、自治会での記念誌発行、女満別龍舞隊の町のPR事業などとなっています。

地方創生推進事業（38万円）

上地委員　パンフレット作成5、000枚はどのように配布しているのか。

林総務課参事　総合戦略パンフレットについては、広くPRを行うため町民や町内外の事業所、ふるさと会、姉妹都市などに配布をしています。

各種疾病予防対策事業（1400万円）

上地委員　子宮頸がん予防ワクチン接種の状況はどうか。

松川福祉課参事　22年度から任意接種、25年度から定期接種となり、27年度末までに延べ183人となっており、27年度は0件、26年度は1件という状況です。国から25年6月に接種の積極的な勧奨を差し控えることとなっており、本町もそのような状況となっております。

学校給食センター管理運営費（1億496万円）

齋藤副委員長　需用費143万2000円の不用額に係る電気代の減について、調理数が減っているのか、電気代が下がったのか、

田端生涯学習課参事　電気代については、節電に努めた部分と電気料金が若干安くなったということで減額となっております。

☆国民健康保険事業特別会計☆

【歳出】

特定健康診査等事業（821万円）

品田委員　特定健診の受診率の状況はどうか。今後のみなし健診の周知等はどう考えているか。

南部福祉課長　受診率は26年度40％弱、27年度44・4％で約5％伸びております。今後はみなし健診を普及し、特定健診の受診率を上げていきたいと考えており、広報等を通じ周知徹底を図りたい。

☆介護保険事業勘定特別会計☆

【歳出】

居宅介護サービス計画給付費（2391万円）

上地委員　居宅サービス計画給付費1858件について、町外事業所での件数はいくらか。

松川福祉課参事　27年度1858件の内訳は、町内件数が1564件、町外が294件となっている。

包括的支援事業（116万円）

上地委員　包括的支援事業の相談件数2225件についての内容はどうなっているか。

松川福祉課参事　相談区分の内訳は、予防給付や二次予防が744件で約33％、実態把握や健康の悩みが560件で約25％、介護保険の利用や認定が572件で約28％、事後指導やリハビリなどが1872件で約85％となっています。

☆財産に関する調書☆

財産目録

田中委員　リールマシン86台について、毎年保管をしている農家に出向いて確認を行っているか。

中村産業課参事　各水利組合から移動の申し出があった際にその受益農家や組合と協議の上整理しております。

田中委員　離農されている場合の確認、また壊れて使えないものは財産となるのか。

中村産業課参事　離農の場合は、使用できない方

へ貸し付けをし、壊れている部分の補修については、現在協議・検討を行っております。

☆総括質疑☆

合併10周年について

田中委員　27年度は合併10周年ということで、各種記念事業を企画・実施したが、その全体を通した総括は行わないのか。

林総務課参事　合併10年記念に係る各種事業については、23の事業、総額約4200万円の事業費であります。これをきっかけに大空町の今後の発展振興につなげていきたいと考えています。

山下町長　27年度の記念事業を特筆して評価を加えるとか、検証するという考え方は持ってございません。皆様方からの感想や御意見、評価など賜ればありがたいと考えてございます。

齋藤副委員長　10周年記念事業については、適正な予算、周到な準備、また職員の皆さんに対しても敬意を表したいと思います。できれば継続してもいいのかなという事業もあり、将来的に毎年でなくても、継続できるような事業なかったのか。

山下町長　たすきリレーや記念舞台などもありましたが、特に運動会は良かったので継続してという意見、一方で毎年は疲れるという意見もございました。そういうことも含め、いろんな方々の意見をいただきたいと考えてございます。

不納欠損について

松岡委員　不納欠損の場合には、当事者に通知を行っているか、町民に対し公平であるとの観点ではやはり滞納の場合は、厳しい措置をすべきだと思う。

山本住民課長　町内の不納欠損をしたものについては通知をしております。もっと厳しくすべきということで、粘り強く折衝をしている状況です。

川口副町長　この人は払える能力があると思われる部分も、法律に照らし調べてきちんと証拠を残し、慎重に判断をさせていただきたい。

山下町長　不納欠損をすることがしっかりとお納めいただいている方々から見たときにどうなのかと、透明感を持って説明できるものをつくっておかなければなりませんし、公平感が非常に大切ではないかと考えてございます。

町への移住促進について

松岡委員　宅地分譲や特公賃・単身者住宅の入居について広告が出ていたが、給食費や中学校までの医療費無料化など、町へ呼び込む方法として一緒に載せてはどうか。

山本住民課長　そういう方々にも広めるということで、さまざまな広告媒体を使い周知させていただいているのが現状です。

山下町長　広く広報媒体を活用させていただきましたが、まだまだ十分ではないと思ってございます。パンフレットなど町の施策を総合的にPRし興味を持っていただきたいと考えてございます。

松岡委員　やはり子育て世代は、町がどういう施策をしているかに興味を持っているので、今後対応していただければと思います。

藤田総務課長　分譲地については、売ることに主眼を置き広報していますので、今後は町全体のPRを含め広報を行ってまいりたい。

山下町長　医療、教育、住環境、仕事場のことも含めて情報を提供しなければならないと考えてございます。横の連携を図りながらアピールすることに力を注いでまいりたい。

財務諸表について

品田委員　平成28年度決算から総務省の統一的な基準、貸借対照表や勘定科目についてはどのような形態となるのか。また、行政コスト表の町民負担率5・2％は他の町村と比べてどうなのか。

藤田総務課長　財務諸表については、国からひな形が示され、公会計制度へのシステム改修を進め、複式簿記化していく状況になっており、さらに勘定科目は国の基準により決算書を作ることとしております。行政コスト計算書の5・2％については、どの数値が適正なのかについては把握しておりません。

今後の将来展望について

深川委員　これから10年先、高齢化社会が進み、高齢者福祉や児童福祉、子育て支援、人口減などに対応していかなければならないが、今後の将来負担の考え方、また展望があれば町長にお聞きしたい。

山下町長　人口減ということに立ち向かうためには、いかにブレーキをかけるか、どのような生産力を持って行くことになるか、そのことを念頭に置き、財政運営やまちづくりを行いたいと考えております。

補助金の適正化について

深川委員　外部団体や事業・イベントなどに対する補助金については、分析をしながら今後進めていただきたい。

山下町長　例年のイベントや各団体に対する補助金については、すべて検証しなければならないと考えてございます。補助団体においても、そういう意識を持っていただけるよう、より効果的な補助金執行につながるようご説明をさせていただきたいと考えております。

平成28年9月 定例会(9/12～13開催)で決定した主な内容をお知らせします。

(条例制定4件・補正予算6件などについて、全議員賛成で可決されました。)

※詳細に対する質疑・答弁内容は要約して掲載しています。詳細は、両地区図書館にある「会議録」をごらんください。また、議会ホームページにある「会議録」もごらんください。

●議会ホームページURL：
(http：//www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/)

平成28年度一般会計補正予算

台風7号・台風11号等による災害復旧費に1億4,240万円を増額補正!

平成28年度一般会計補正予算について、9月定例会にて審議を行い、ふるさと応援寄附金事業70万円、介護基盤充実・強化支援業務委託料125万円、予防接種委託料（B型肝炎ワクチン）30万円、体育振興補助金81万円、B&G海洋センター駐車場整備工事1499万円、28年発生災害農業用施設復旧費210万円、28年発生災害林業用施設復旧費310万円、28年発生災害道路橋りょう復旧費7720万円、28年発生災害河川復旧費6000万円などを増額補正し、一般会計総額104億8807万円となりました。

補正予算の主な内容

会計	補正予算額	補正後の総額
一般会計	1億8,920万円	104億8,807万円
国民健康保険事業特別会計	36万円	13億5,990万円
介護保険事業勘定特別会計	295万円	7億7,053万円
簡易水道事業特別会計	209万円	3億5,274万円
下水道事業特別会計	67万円	3億9,514万円

＜一般会計＞

【歳　出】

事業内容	補正額
ふるさと応援寄附金事業	70万円
介護基盤充実・強化支援業務委託料	125万円
予防接種委託料（B型肝炎ワクチン）	30万円
体育振興補助金	81万円
B&G海洋センター駐車場整備工事	1,499万円
28年発生災害農業用施設復旧費	210万円
28年発生災害林業用施設復旧費	310万円
28年発生災害道路橋りょう復旧費	7,720万円
28年発生災害河川復旧費	6,000万円
その他事業	2,875万円

【歳　入】

事業内容	補正額
公共土木施設災害復旧事業費負担金	5,760万円
備考資金組合災害支消金	2,470万円
28年発生災害公共土木施設復旧事業債	6,010万円
その他	4,680万円

規約の変更

網走地方教育研修センター組合規約の変更について

教育委員会制度の変更に伴う新教育長の設置など文言等の変更について議決を行いました。

質疑と答弁

ふるさと応援寄付金について

品田議員　ふるさと応援寄附金事業について、新しいポータルサイトにて今後広く寄附金を求めるということだが、最近件数・金額ともに落ちてきているが、考えられる要因は何か。

山本住民課長　ポータルサイトについては、現在の「ふるさとチョイス」のみであるが、本サイトには全国950もの自治体が参加しており、なかなか厳しい状況であります。今後は新たにサイトを増やし、件数・金額の増を図ってまいりたいと考えている。

品田議員　過剰な競合が要因とのことだが、最近は災害が多いのでこれも要因の一つではないか。

山本住民課長　ご指摘のとおりで、熊本地震や台風災害などに対し、全国的に約数百億円の寄附がそちらに行っているということも要因の一つとなっている。

条例制定

手数料条例の改正

手数料については、法令等に基づく場合や公用などの場合に減免となりますが、その範囲や適正な処理のため字句について住民へのわかりやすい表現にするなどの改正を行いました。

特定公共賃貸住宅条例の改正

特定公共賃貸住宅の入居要件について、単身者の入居についても一部可能とすることとし、それを追加する旨の改正を行いました。

古梅ダム維持管理事業分担金徴収条例の制定

古梅ダムの維持管理に係る受益者からの分担金徴収について、徴収根拠を明確にするため新たに条例を制定しました。

本郷排水機場維持管理事業分担金徴収条例の制定

本郷排水機場の維持管理に係る受益者からの分担金徴収について、徴収根拠を明確にするため新たに条例を制定しました。

特定公共賃貸住宅

決算認定を付託

平成27年度の決算認定を「決算審査特別委員会」に付託

町の一般会計と7特別会計、計8会計の平成27年度決算認定が提案されました。決算認定については「決算審査特別委員会」を設置し、その中で詳細を審議していくことになりました。（審査の内容は5ページから掲載していますのでご覧ください。）

要望意見書

次の表のとおり、所管委員会で協議した結果、3件のうち1件を採択、2件を議員配布することとなりました。

★9月定例会の際に審議した陳情等の結果

番号	件名	採択	議員配布対応	継続審査
1	新たな高校教育に関する指針の見直しを求める陳情		○	
2	特別支援学校の設置基準策定を求める陳情		○	
3	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書	○		

国への要望意見書を全会一致で採択

次のとおり、本定例会において、国に対して要望意見書を全会一致で採択し提出しました。

採択　林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書

本道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、森林資源の循環利用を進める必要がある。また、森林の整備を進め、木材を積極的に利用して林業・木材産業の成長産業化を図ることは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

平成28年8月 臨時会(8/25開催)で決定した主な内容をお知らせします。

（契約の締結1件・補正予算2件などについて、全議員賛成で可決されました。）

※詳細に対する質疑・答弁内容は要約して掲載しています。詳細は、両地区図書館にある「会議録」をごらんください。また、議会ホームページにある「会議録」もごらんください。

●議会ホームページURL：
（http：//www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/）

平成28年度一般会計補正予算

合宿来町費用助成のため、教育文化合宿補助金に80万円を増額補正！

平成28年度一般会計補正予算について、8月臨時会にて審議を行い、町外高校・大学合宿来町費用助成のための教育文化合宿補助金に80万円、町民の全道・全国大会への参加助成のための体育振興補助金に14万円、また台風7号及び台風11号による被害への復旧工事等として、28年発生災害復旧費に3680万円などを増額補正し、総額は102億9887万円となりました。

内訳は左の表をご覧ください

補正予算の主な内容

会計	補正予算額	補正後の総額
一般会計	3,774万円	102億9,887万円
国民健康保険事業特別会計	30万円	13億5,954万円

＜一般会計＞

【歳　出】

事業内容	補正額
教育文化合宿補助金	80万円
体育振興補助金	14万円
28年発生災害農業用施設復旧費	300万円
28年発生災害道路橋りょう復旧費	2,150万円
28年発生災害河川復旧費	1,230万円

【歳　入】

事業内容	補正額
備考資金組合災害支消金	3,680万円
その他	94万円

契約の締結

広域穀類乾燥調製貯蔵施設建設工事（計量棟）

広域穀類乾燥調製貯蔵施設は、オホーツク管内の豆類のブランド化と豆類の作付による適切な輪作体系の確立のため、管内に点在している豆類乾燥調製施設を再編、合理化し、拠点となる施設として建設します。

今回工事となる計量棟は、計量設備を増強するためのもので、空車トラックスケール1基増設、実車トラックスケール改修、サンプリング設備1基の増設及び全自動自主検査装置一式を整備し、構造は鉄骨造、延床面積631・41平方メートル、うち増築分が102・67平方メートルとなります。

指名競争入札の結果、河西・斉藤・藤井経常建設共同企業体が契約金額2億5596万円で落札しました。工期は平成29年3月21日までとなっています。

町政を問う！

（一般質問2人）

☆上地（うえち）　史隆（ふみたか）議員 …… 11ページ

1．台風災害について

2．発達障がいについて

☆原本（はらもと）哲己（てつみ）議員 …… 12ページ

1．昨今の異常気象による災害・被災農地の復旧・維持について

平成28年第３回定例会では、２人の議員から、町の施策などに関する一般質問が行われました

※質問、答弁の内容は、要約して掲載しています。

詳細は、議会ホームページ

（http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/）

及び両地区図書館で閲覧できる会議録をご覧ください。

「議会インターネット中継」のお知らせ

議会の情報公開を進めるため、インターネット上でライブ中継、録画映像を無料で配信できる「ユーストリーム」を活用し、議会審議状況のインターネット中継を行っています。

傍聴に来られない方など、直接議場へお越しいただかなくても、ご家庭などでご覧いただけます。ライブ中継のほか、録画映像の配信も実施しています。（議会後30日以内）

上地　史隆　議員

問　8月17日から21日にかけての台風による被害及び復旧は

答　災害復旧費の補正も含め復旧に向けて迅速に対応したい

上地議員　道内に三つの台風が上陸し、オホーツク管内にも深刻な爪跡を残しました。網走川観測所の水位が、統計開始以降、最高を記録し、堤防の限界値・計画降水位を突破しました。今回の記録的な大雨は、大規模な災害のほか、湖や河川の水位上昇による大規模な冠水被害をもたらしました。このように今回甚大な被害をもたらした台風が大空町では実際にどれぐらいの被害があったのか。

山下町長　被害については、8月15日から23日までの9日間、総降水量は、299・5ミリを記録し、台風7号が通過した17日には、最大風速が19・3メートルを記録、停電の発生、倒木の被害もありました。台風11号が通過した20日から21日は2日間で総降水量が131・5ミリを記録、農業被害は両JAからの報告で8月30日現在で台風7号による作物被害は、女満別地区でバレイショ、大豆、てん菜などの圃場で滞水や倒伏が48ヘクタール、東藻琴地区でデントコーンの倒伏が40ヘクタール、農業施設では両地区でビニールハウス、倉庫、牛舎、畜舎の破損が63棟、台風11号、9号による被害では、女満別地区で冠水が408ヘクタール、作物の流失64ヘクタール、滞水110ヘクタール、ビニールハウス、倉庫の損壊が7棟、東藻琴地区では、冠水7ヘクタール、ナガイモネットの落下が0・1ヘクタール、このほか、圃場法面の崩壊が多数あり、漁業においても漁ができないという被害が出ています。林道は路盤の排水工の洗掘により3路線6カ所、湖畔の林道では、流木による被害も出ています。また町営牧場では、道路崩落1カ所、草地崩落2カ所、このほか、湖畔園地、保安林、林道では120本の倒木、道路では法面崩落や路肩の崩落、側溝閉塞など64路線、99カ所、河川は河岸崩落や侵食など10河川、27カ所となっています。

上地議員　現在、人手や重機もほかの仕事で足りない状況であり、管内のほかの市町村も同じように復旧で大変だとお伺いしております。その中で何を優先して復旧に取り組んでいくのか。

山下町長　既に8月臨時会では、災害復旧費を一部計上しております。今回は8月に被災ということで収穫などまだ終わっていないので、雪が降るまでに急いで復旧を行う考えでおり、9月6日の入札にて、国の災害事業に該当させるための査定用の設計委託を既に一部発注をしました。また、少額事業工事については、見積合わせを実施しております。また、本定例会においても、必要な補正予算を提案させていただいております。町民生活への影響を最小限になることを第一と考え、早期の復旧事業工事に努めてまいりたいと思っております。

問　災害発生が予想される時の住民に対しての周知は

答　様々な方法で発信し、またその判断基準もしっかりと定めたい

上地議員　大規模な災害が予想されるときの住民に対しての周知はどのように行ったのか。今回は避難対象地区も狭く、戸別訪問や電話で対応可能でしたが、防災計画にある災害発生予想区域の網走川に関しては住吉、豊里、本郷と一番対象地区は広くなります。今後大規模災害が予想される場合にはどのように周知するのか。

山下町長　避難情報発信ですが、エリアメール送信、電話連絡、戸別訪問、テレビやラジオを通じての発信、広報車での周知、JAファックスでの送信、自治会等を通じての連絡などの伝達手段をもって周知を図ってまいりたい。

国や道の管理河川における判断基準も、町独自で判断基準というものをしっかりと申し上げなければならないと感じており、それらを推測しながら早目に皆さんに準備・行動いただくという、体制をつくり上げていくことをしていかなければならないものと感じております。

問 発達障がいを持つ子供達への支援や住民への普及啓発は

答 今後も支援を行い、住民へも広く普及啓発を図りたい

上地議員　発達障がいの支援について、平成16年施行の発達障害者支援法が改正となり、就労と教育支援を強化するなど、ライフステージで切れ目のない支援を目指しています。就労支援では自治体が都道府県に発達障害者支援地域協議会を設置できることとし、関係機関の連携を促進し、また就労機会の確保や職場での定着支援などを想定し、事業主についても発達障害者の特性に応じた雇用管理を求めています。教育に関しては、学校が発達障害児の長期個別計画を作成し、福祉関係機関との情報共有や連携も推進し、いじめ対策も強化しています。このような子どもたちにどのような支援が行われ、また、発達障害の理解を住民が深めるためにどのような対応をしているのか。

山下町長　町では、網走市子ども発達支援センターの協力のもと、年6回の幼児健診時に問診を行い、また発達に不安があるお子様や要経過観察のお子様の巡回相談や役場での相談、家庭訪問なども行っています。このほか、児童相談所の巡回相談での支援や養育のアドバイスが受けられますし、美幌町や北見市の医療機関においては受診が可能となっております。

障がいは発達の過程で年齢のほか幼稚園などの集団生活の中で症状があらわれることもあります。幼稚園教諭や特別支援コーディネーター、学校関係者等、福祉部門で組織する特別支援連携協議会で早期発見、早期支援、療育に取り組んでいるところであります。また、町民へ理解を深めるための対応ですが、現状では、検診時等での保護者への情報提供を行うにとどまっており、町民に対しての積極的な広報啓発活動は実施できておりません。今後は広報紙での特集やあんしんガイドブックの活用などを通じ必要な啓発活動を行ってまいりたい。

渡邊教育長　町ではこれまで特別な支援を必要とする子供たちのため、町立幼稚園や小学校に独自に補助教員を増員配置し、平成24年度には特別支援コーディネーターを配置し、学校への指導、助言、保健福祉部局との連携調整、連携会議や専門家チームによるケース検討会議、保護者との相談業務などに取り組み、支援体制の強化に努めてまいりました。個別の教育支援計画については平成25年9月から作成を開始し、現在特別支援学級に在籍しております児童生徒については、保護者の同意のもと、全員の計画を作成し、個別の指導計画については、本年度全ての学校で特別支援学級に在籍している児童生徒の作成を完了しております。また、いじめの防止等の対策は、本年、平成28年3月に大空町いじめ防止基本方針を策定し、教育活動全体を通して、道徳教育の強化を図るなど、いじめ防止に向けた各種対策を取り組んでおります。

発達障がいの普及啓発については、特別支援コーディネーターが中心となり、幼稚園での就学時健康診断や参観日の際に発達に関する講話や保護者相談などを実施し、普及啓発に努めております。

原本　哲己　議員

問 昨今の異常気象による災害・被災農地の復旧・維持は

答 国や道への要請も含め復旧に向けて迅速に対応したい

原本議員　今回の台風による農地の被害状況はどのように把握されているか、今時点で大空町としてできる対策はどのようなものがあるか、今後異常気象による災害被害の多発が予想される中、基幹産業の農業を守るため、大雨に耐えられる農地基盤に変えていくことが必要であるが、農家個人の力では限界があり何らかの支援対策が必要と考えられるが、町長の考えをお聞きしたい。

山下町長　昨年10月の台風では被災農地が全部で229カ所でありました。本年8月の台風においても農地の被害が大きく9月4日までの報告では151カ所でありますが、内容は法面崩壊、ガリ浸食、河川氾濫に伴う冠水、土砂の流入などとなっております。このほか、共同や個人管理しております排水路の被害が32カ所、耕作道は68カ所が被害を受けております。

この被害に対応する方法としては、まず、町が事務事業主体となり、農地災害復旧事業や農業用施設災害復旧事業に乗るという方法があります。しかし、現行制度は被災農地の法面面積については算入ができないこととなっており、さらに原形復旧が基本であることから、形状変更する基盤の切り盛りの普及工法の方が安価な方法であっても運搬盛り土での復旧となり工事費が高額となる場合があります。次に多面的機能支払交付金を活用する方法があり、昨年の災害では、当初農地復旧の箇所申込みが170カ所でしたが、40カ所が自助努力で復旧することとなりました。残りの130カ所を業者施工による発注とすることとし進めています。また、道営農業農村整備事業での災害復旧の方法もありますが、昨年度は取組みをしていません。さらに農業振興資金を借入れし災害復旧を行う方法では、昨年度の災害では両JAが融資をする資金において農業者の利子を町が負担し、無利子とする条例改正をいたしました。28年度発生災害につきましても関係機関と協議を進め、昨年度と同様な支援内容について検討してまいりたいと考えてございます。

原本議員　昨今、圃場区画が大きくなり麦の作付けも増えており一圃場からの流失水が大変多く、沈砂池等では十分対処できていない。ここに来て異常な雨は、畑の上と下の耕作者が違う場合、農家間の気持ちにひび割れをもたらしていることも事実だと思います。また河川の流域にある地域では滞留水が大変大きな問題となっています。

道営事業では予算不足により年次送りが増え、今回災害分については厳しい状況です。今後は突然発生する災害、短期間で何百ミリもの降る災害もあるので、被災前に何ができるかが重要となっており、新しい事業等も考えていく必要があります。

山下町長　今後の農地における考え方については、農業者の皆様の取組みなくして防災・減災はあり得ないと考えております。基幹産業である農業を守るためには、強固な農地の基盤に変えていくことが、将来的に必要でございます。いくら圃場の排水対策を行っても、下流域での排水処理ができていなければ、被災につながります。広域の排水処理、排水の整備を念頭に置いた計画策定を図ってまいりたいと考えているところであります。

また、頻繁に法面の崩落等を起こす農地は構造上の問題もあるものと思いますので、しっかりと検証を行って、形状の見直しなど、受益者の皆さんと再整備についても検討していかなければなりません。

今回の大きな雨量からは幾つもの課題をいただいたものと思っております。当面、町民の生活、また来年に向けての再生産を考えて、復旧作業を急がなければならないという目先の課題もあります。また将来的に災害に強い農地をつくっていくという観点からは、計画的なその排水対策というものを行なっていかなければならない。町だけではなく農業者の皆さんと一緒になって日常の管理のてこ入れをしなければなりません。それらについては迅速に対応し、災害に強いそういった地域の産業というものを作れるように、これからも努力をしてまいりたいと思います。また、国や北海道に対する要請もいろいろな視点から必要になりますので、そちらについても迅速に対応して地域の窮状というものを説明してまいりたい。

台風による被災農地の状況

委員会レポート

OZORA MEMANBETSU HIGASHIMOKOTO

総務厚生常任委員会

●第６回〔平成28年８月25日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
Ｂ型肝炎ワクチン予防接種の定期接種化について	Ｂ型肝炎ワクチン予防接種の義務化の開始
ふるさと応援寄附金ポータルサイトの拡充について	新規ポータルサイトの追加
◆上記のほか、「社会福祉法人東藻琴福祉会・社会福祉法人女満別福祉会の経営基盤の充実・強化の取り組みについて」など全６項目を審議	

●第７回〔平成28年９月１日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
一般廃棄物最終処分場作業機材の購入について	一般廃棄物最終処分場の作業機械の新たな購入
◆上記のほか、「国民健康保険資格異動に係る過年度事務処理の誤りについて」など全２項目を審議	

●第９回〔平成28年９月12日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
空港運営の民間委託に係る取組について	道内７空港民営化に係る大空町の対応について

●第10回〔平成28年10月20日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
東藻琴福寿苑増築事業基本設計概要について	増築（30床増床）に係る工事基本設計等の進捗状況
大空町地域振興施設について	平成29年９月オープン予定の施設に係る状況
◆上記のほか、「第３次大空町行政改革大綱及び推進計画について」など全３項目を審議	

産業建設文教常任委員会

●第５回〔平成28年７月１日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
大空町の新しい高校づくり（素案）について	大空町の今後の高校のあり方について審議

●第６回〔平成28年８月22日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
体育振興補助金及び教育文化合宿補助金の予算補正について	全道大会参加者・合宿等の増に伴う補正について
女満別B&G海洋センター駐車場拡張工事計画について	センター前駐車場の拡張工事の概要

大空町古梅ダム維持管理事業分担金徴収条例の制定について	古梅ダム維持管理に伴う徴収条例の整備について
大空町本郷排水機場維持管理事業分担金徴収条例の制定について	本郷排水機場維持管理に伴う徴収条例の整備について
平成28年発生降雨災害について	降雨災害発生による道路や河川の状況説明
◆上記のほか、「女満別湖畔倒木事故について」など全６項目を審議	

●第10回〔平成28年10月14日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
大空町地域振興施設について	平成29年９月オープン予定の施設に係る状況
平成28年度全国学力・学習状況調査結果について	調査結果に係る大空町内の小中学校の状況
島根県立隠岐島前高等学校魅力化プロジェクト視察報告について	平成28年７月に行った視察に係る内容報告
女満別B＆G海洋センター駐車場整備について	駐車場を拡張し、最大114台のスペース確保
街路灯等へのＬＥＤ照明導入促進事業について	大空町内1,135灯の街路灯のＬＥＤ化
広域穀類乾燥調製貯蔵施設の整備状況について	施設整備に係る今後のスケジュール等説明
サイクリングによる地域活性化事業について（網走市・北見市・大空町の広域連携による観光振興）	３市町による３カ年事業の概要説明
農業振興センター備品の更新について	豆腐づくり用圧搾機の更新について
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業について	特別対策事業の概要及び具体的取組内容説明
◆上記のほか、「平成23年度強い農業づくり交付金事業により取得した財産の処分について」など全13項目を審議	

合同常任委員会（２常任委員会合同での調査）

●〔平成28年７月１日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
大空町の新しい高校づくり（素案）について	大空町の今後の高校のあり方について審議

●〔平成28年８月25日開催〕

主な審議項目	説　明　概　要　等
北海道における空港運営戦略の推進（案）について	道内７空港民営化に係る大空町の対応について
平成28年8月17日から18日にかけての台風第7号災害について	台風災害に係る農地や道路等の被害状況について
平成28年8月20日から21日にかけての台風第11号災害について	台風災害に係る農地や道路等の被害状況について
◆上記のほか、「大空町地域振興施設条例及び施行規則の制定等について」など全４項目を審議	

議会運営委員会

道内行政視察報告（7／13～15）

視察先①：胆振管内白老町議会
研修項目
「通年議会について」
「自治基本条例の見直し状況について」

【通年議会】

・通年議会は全国で初めて、平成19年6月から20年6月まで試行し、平成20年6月議会で条例を制定し本格実施した。

・現行の制度では議会が主導的に議会を開く仕組みになっていない。通年議会は、議会活動能力の確保と捉えている。

・メリットとしては、議会の活動能力のない閉会期間をなくし、議会が主導的に活動できる制度によってチェック機能をより充実して行きたい。また、災害、緊急時の突破的な事案に対しても迅速な対応が図られる。

【自治基本条例】

・自治基本条例は、平成17年5月に「協働のまちづくりを推進する」ことを目的に、まちの憲法である自治基本条例の制定に着手し、町民、議会、行政がそれぞれ策定部会を組織し、それぞれの役割と責任において条例の骨子がつくられ、最終的に一本の条例として平成18年12月制定した。

・条例では「5年を超えない期間ごとに社会情勢に適合しているか検討する」としており、条例制定から4年が経過した平成22年度より自治、議会、町民がそれぞれの部門で検討し、平成23年6月検証委員会を設置し条例改正の提言を受け改正が行われました。

視察先②：胆振管内豊浦町議会
研修項目
「通年議会について」

・通年議会は、平成23年1月から実施し、毎年1月初旬に議会を開会していたが、昨年から議員の任期と合わせ11月15日から翌年の11月14日までに変更した。

・メリットとしては、災害等の緊急事態が発生した場合、招集手続きを経ずに議長の権限で速やかに議会を開け、復旧の対応が可能であることや、所管委員会の所管事務調査についても、時期を失することなく詳細にわたって対応できる。

豊浦町議会議場にて

視察先③：北海道町村議会議長会
研修項目
「通年議会について」
「議会運営の動向について」

・通年議会は、道内で8町が実施している。うち、2町が法に基づき実施、他は運用で実施している。

・道内の町村議員数は、平成7年2、286人であったが、平成27年には1、075人と減少している。要因としては、市町村合併による町村の減少と行革などにより一議会の平均議員数が減少している。

【おわりに】

・通年議会は、常に活動できる状態にあり迅速な対応ができるメリットもあるが、今回視察した2町では、年4回の定例会の開催や専決処分も行われており、当面は現状の制度で対応できるものと考えられます。

・議会基本条例の見直しについては、今回の視察を参考に議会運営員会で検討していくこととしています。

【通年議会とは】

会期を1年とし、その間は議会の判断で必要に応じて会議を開けるようにする制度です。

視察報告

総務厚生常任委員会

道内行政視察報告（7／20～22）

視察先①：美唄市 社会福祉法人 北海道光生会
研修項目
「グループホームと就労について」

美唄市の社会福祉法人「北海道光生会」は、昭和42年に設立され、「住む」、「働く」、「楽しむ」、「その人らしく」を基本理念に、ひとりでも多くの方に自己実現と社会参加を行えるよう支援を行っています。

設立当初から特に子どもたちへの自立支援を行うため、18歳で施設を出所する際、手に職を付けるということに重きに置き、幼少期から溶接機・プレス機などの作業機械などの分野に触れさせ、地域社会への参加をスムーズに行えるよう支援を行っています。

グループホームと就労支援については、主に「爽やかネットワーク」において行っており、これらの取り組みについては、スローガンを「しょうがい福祉は地域づくりそのものである。」と掲げ、就労支援と地域生活支援を中心に行っています。

現在の福祉制度にはない一般就労者への生活支援や結婚生活支援なども生涯に渡って行っていくことにより、街の中で地域社会に溶け込むことができるよう細かい部分まで支援しています。

就労支援は、直接企業に働きかけ、1人でも多くの就労が実現できるよう就労移行支援チームが中心となって、細かい支援を行っている様子がわかりました。

さらに、事業の一環として精米宅配、宅配弁当販売、災害備蓄用の「備え餅」の販売も行い、新しい企画、開発にも挑戦しています。

視察先②：胆振管内洞爺湖町議会
研修項目
「福祉会の合併及び廃校を利用した福祉施設について」

洞爺湖町の社会福祉法人「幸清会」では、平成28年4月に社会福祉法人「大滝福祉会」と合併し、さらに旧大滝小学校の廃校跡地を利用した特別養護老人ホーム「大原の杜2016」を開設しています。旧小学校敷地をより良く有効活用し、全室個室ユニット型施設で全室トイレ付き、構造は、「木」のぬくもりがある木造準耐火構造2階建で10名×5ユニット構成としています。災害緊急時の一時避難所としても活用し、各個室を広めに設定し、そこに簡易ベッドを一時的に入れ、避難者がそこで寝泊まりできる避難所として活用できます。農村部地域にあるので、今後将来その職員の定住や地域への定着の推進も図っています。

福祉会の合併については、昨今の社会福祉法人の経営合理化による大規模化の推進が必要とのことから、役員数の是正、経費の効率化の部分で、メリットがあるということで合併行ったということをお聞きしました。

大原の杜2016にて

視察先③：上川管内美瑛町議会
研修項目
「地域包括ケアシステムについて」

美瑛町は、高齢化率については36％、要介護高齢者が877人で、これから人口が減っていくものの、高齢化率は高水準で推移するという問題を抱えています。

美瑛町の小規模多機能型居宅介護事業の地域展開の取り組みについては、厚生労働省の「地域包括ケアシステム」の先進取組事例としても取り上げられ、美瑛町の実態としては、町の面積が広大であるため介護サービスを行うにも送迎に時間がかかることにより効率が悪く、細やかな介護ができなかったという問題がありました。

社会福祉法人「美瑛慈光会」を実施主体として、今後将来に向けて効率の良い介護サービスを行うことを目的に、市街地一極型から4つの生活圏域に分け、地域で通所などのサービスを効率的に行い、介護サービスを必要とする方々が住み慣れた地域での生活が可能となるよう整備を行いました。

住民意見を深く反映させ、また、開設後も住民が参画する「運営推進会議」を組織し、地域との関わりを議論し、小規模多機能型居宅介護事業所を中核とした地域コミュニティの推進を図っているとのことでした。

地域の人口減少などの地域力の低下が進んでいる中、子どもからお年寄りまでみんなが互いに寄り合うことができる場所、昔の小学校のような地域の憩いの場を構築することを重点とされているようです。

視察報告

まちの将来を見据えて

議会でチェック！

～総務厚生・産業建設文教　両常任委員会で「所管　事務調査」を実施しました～

Q　所管事務調査とは？　議会が自主的に常任委員会の所管する事務を取り上げ、積極的に調査するもの。委員の認識や理解を深め、専門的審査を高めるために行います。

７月25日に産業建設文教常任委員会、７月26日に総務厚生常任委員会が、それぞれ所管する事務の中から今チェックすべき施設等を調査しました。その内容について主なものをお知らせします。

総務厚生常任委員会

◇網走刑務所住吉作業所用地の状況について

●網走刑務所所有の住吉作業所用地の今後の利活用について調査するため、網走刑務所職員の方等から説明を受けました。

●用地面積は５０３ヘクタールで、過去には作業所は最大70名程度が寝泊まり可能であった。

●平成４年まで職員及び収容者が作業を行っていたが、現在はほとんど使用していない状況である。

●町としては、今後利活用を進めていく方向であり、将来的には住民が自然にふれあいながら様々な分野の体験・交流等ができるようなエリアを作っていきたいと考えている。

住吉作業所用地の状況を確認しました。

◇女満別昭和地区定住団地の宅地分譲の状況について

●現在15区画中10件の申請があり、町内者は９件で町外者は１件となっている。

●今後は町外者への広報・周知をより一層行ってもらいたい。

◇女満別栄町定住団地の宅地分譲の状況について

●現在６区画中４件の分譲で４件とも町内者である。

●残り２区画についても、広報・周知を推進していきたい。

●分譲と並行しいろんな利活用も今後検討しては良いのではないか。

◇東藻琴総合支所南側定住団地の宅地分譲の状況について

●現在５区画中３件の申請があり、３件すべて町内者である。

●今後は町外者、特に仕事の通勤者などへ広報・周知を行ってもらいたい。

◇東藻琴福寿苑増築事業予定地の状況について

●平成29年度に開設予定の東藻琴福寿苑増築事業に係る工事概要及び今後のスケジュールを東藻琴福祉会の方々等から説明を受けました。

●施設は、ユニット型30床の増床で、「木」のぬくもりを取り入れた構造や地中熱ヒートポンプ等を利用するとのことである。

●予定地は、現在の高齢者生活支援ハウス「悠久の里」の東側を建設予定地としている。

◇中央さくら団地解体及び建設予定地の状況について

●解体工事は、昭和49年建設の１棟４戸及び昭和50年建設の１棟４戸で解体費は８５８万円である。

●建設工事は、木造平屋２棟（１棟２戸）で11月30日完了予定としており、建設費は８２７２万円となっている。

東藻琴福寿苑増築事業について説明を受けました。

所轄事務調査

産業建設文教常任委員会

◇台風23号災害被災箇所の復旧状況について

●昨年の台風23号の被災復旧状況について現地２箇所の調査を行いました。

●開陽地区は事業費６８９万円、新富地区は事業費３６０万円でそれぞれ復旧を完了している旨説明を受けました。

◇東藻琴小学校大規模改修工事の進捗状況及び体育館の現状について

●昭和45年に建築された東藻琴小学校の平成27年度、28年度の２か年で行われる改修工事について説明を受けました。

災害被災箇所の復旧状況を確認しました。

◇東藻琴Ｂ＆Ｇ海洋センター武道場畳の整備状況について

●畳１２８枚を５４１万円で整備を行いました。

◇女満別高等学校寄宿舎の運営状況について

●平成28年度については、６６２万円の委託費で運営し、入寮状況は現在10人となっています。

◇女満別運動公園野球場・遊具・木道改修工事の進捗状況について

●野球場については平成27～29年度にかけて工事を行います。

●平成28年度に遊具は４８３８万円で工事を行い、木道は４３９万円で工事を行います。

◇女満別Ｂ＆Ｇ海洋センター改修工事の進捗状況・女満別武道館畳の整備状況について

●平成３年建築の海洋センターの屋根・外壁等を２５５６万円で改修します。

●武道館畳は１７６枚を７２１万円で整備しています。

◇豊住小学校屋外シャワーユニットの設置状況について

●シャワーユニット設置については、３８０万円で工事を行っています。

女満別野球場改修工事の状況を確認しました。

所轄事務調査

読みやすい議会だよりを目指して

～議会広報モニターさんと意見交換～

9月28日に開催しました、平成28年度第1回議会広報モニター連絡会議において、下記のとおりモニターさんから意見をいただきましたので、委員の回答も含めて、主なものをお知らせします。

※当日は５名のモニターさんの内、４名の出席をいただきました。

委員等： 普段から議会だよりをご覧いただき、どのようなことをお感じになられてますか。いろんなご意見をいただきたいと思います。

モニター： レイアウトなどについては、予算の円グラフなどは非常に見やすいかと思う。また、どういうことをやっているのか具体的に分かりやすく勉強になる。

モニター： 全体的に見やすく興味を引くし、ちょこっと紹介なども、堅苦しさがなく良いのではないか。写真を載せていただいたり、吹き出しがあったり親近感があって良い。

モニター： 内容、構成、色使い、中身とかいろいろ見て、完成度が高いので、こうしなければならないということはそんなに無いのかなと。この編集方法で続ければ、良いものが出来るとは思った。見やすいし、十分これで良いのではないかと思う。

委員等： 今までのモニター皆さんからのご意見を反映できているのかなと思います。今後も厳しくご覧いただけるといろいろと新しい面が出てくると思う。

モニター： 議会だよりなので、きちんとしているという印象だが、マンガのような興味が出てくるようなのも良い。特に若い人達の目が向くようなのが良い。

委員等： 編集において、ページやコーナーなどでそれが可能かどうか判断していきたい。なかなかおもしろい意見かと思いますので、ぜひ参考にさせていただきたい。

モニター： 議会に関するクイズみたいのを入れたらどうでしょうか。みんな関心を持って見てくれるのかなと思いますが。

モニター： 議員のプロフィールや趣味特技などを掲載してはどうか。身近に感じることができるかなっていうのもあります。

モニター： 他の地区の議員が分からない。そういう意味で議員紹介的な記事があるとわかりやすい、親しみが湧いてくるのかという気がします。

委員等： 議会だよりには子どもの写真なども掲載しておりますが、その点についてはどうでしょうか。これについては子どものいる方の意見をいただきたい。

モニター： 子どもが載っているのでうれしく思います。知っている子がいると見るし、やっぱり子供が写っていると良いと思います。

委員等： 自分の身近な人が写っていると、興味を引くかと思います。他に何かこんな時の写真を使ったらというのはありませんか。イベントやサークルとかで。

モニター： 子ども達がと思うのですけれど、おばあちゃん達の顔が写っているのも良いのでは。知らない人なんですけれど、すてきだなと思います。また、若い人たちが元気がある、そういうのもすごく魅力があって良いのではないかと思います。

委員等： 活動や仕事している様子を載せている広報紙もあるので、今後はそういうことも考えて行きたいと思います。本日皆さんから頂戴しました意見を大事にして、伝わるということを大切にして、これからも読みやすい、また読まれるような議会広報を、届けさせていただきたいと思います。

議会活動掲示板

【女満別小学校開校100年記念式典　10／1】

大正６年に開校した女満別小学校の開校100年記念式典が開催され、議会を代表し近藤議長が出席し、女満別地区教育の１世紀もの歴史を振り返り、尽力された当時の方々の功績を讃えました。また、正門近くには記念碑も建立されました。

【行政視察来町応対（美幌町）　9／30・10／31】

本町の取り組みなどを視察するため美幌町議会の皆さんが来町されました。

９／30は、「メルヘンカルチャーセンターについて」で、主に地場産品加工室などの食品加工設備の状況などを視察するもので、当日は、町側から施設担当者に同席、対応いただき、また、議会を代表し近藤議長をはじめ、原本産業建設文教常任委員会副委員長にて対応し、相互の意見交換なども行いました。

10／31は、「ボランティア支援ポイント事業について」で、ボランティアに対しそらっきーポイントを付与する取り組みの状況などを視察するもので、当日は、町側から担当者に同席、対応いただき、また、議会を代表し近藤議長をはじめ、松田総務厚生常任委員会委員長、沢出同副委員長にて対応し、相互の意見交換なども行いました。

【北網ブロック町議会議員研修会（美幌町）10／20】

「北網ブロック町議会議員研修会」が美幌町で開催され、本町議会から10名の議員が参加しました。当日は「議会運営の課題と議会の活性化」という内容で、議員定数、一般質問や質疑に係るポイント、議会運営等に係る問題点等について研修を行いました。

町民の声（ちょうみんのこえ）

宮下　久枝 さん
（女満別大成）

～高齢者の集いの場「ときめきサロン」に参加しましょう～

ときめきサロンは、平成25年度から高齢者の方の閉じこもり予防と交流を目的として大空町社会福祉協議会主催で毎月１回開催しております。

内容は、講師を招いての健康に関する講話、交流レクレーション等を行っております。また、ボランティアの方による手づくり料理をつくり、昼食をとっていただいて終了となります。

私も地場産食材を使った料理をつくっております。参加された皆さんの笑顔で「ごちそうさま」の言葉に後押しされて今年で４年目になります。料理づくりに参加されたボランティアさんは「楽しく料理をつくりながらお互いに交流が図れて楽しかったよ」と笑顔で帰られております。参加された皆さんと活動を支えて下さるボランティアの皆さんがいてこの「ときめきサロン」があります。私も「ときめきサロン」のおかげで元気を頂いております。

いろいろな形で参加して頂き、そこに集った皆さんそれぞれが元気にときめいて輝いて下されば大変うれしく思います。

議会の傍聴はお気軽に!

◆定例町議会は、年４回（３月・６月・９月・12月）に開かれます。また、臨時町議会は、必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。

◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

12月定例会は、

12月20日(火)から

開かれる予定です。

冷暖房・空気調和換気
給排水・衛生・設計施工

東陽設備 有限会社

代表取締役　児　玉　利　廣
大空町東藻琴392-14
☎ 0152-66-2753　FAX 0152-66-2758

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

大空町議会だより　第42号　平成28年(2016年)11月15日発行

■発行／大空町議会　■編集／議会広報常任委員会　■印刷／株式会社須田製版

〒099-2392　北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号　TEL(0152)74-2111・FAX(0152)74-2191

UD FONT　VEGETABLE OIL INK

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。
また環境にやさしい植物油インキを使用しています。